

# 第 I 章 キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区の

## 総合整備計画に掲げる各項目の検討

## 第 I 章 キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区の総合整備計画に掲げる各項目の検討

### 1. 本検討調査の背景と目的

「沖縄 21 世紀ビジョン」では、今後返還が予定されている嘉手納飛行場より南の大規模な基地返還跡地の開発においては、広域的な観点から、各跡地利用計画を総合的に調整し、周辺都市地域と一体となった効率的整備を図ることとしている。

平成 25 年 1 月に策定した「中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想」では、中南部都市圏を一体としてとらえ、沖縄全体の発展につながる 100 万都市の形成を目指すため、返還合意された 6 施設の跡地利用の方向性を示している。

その 1 つである「キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区」は、平成 27 年 3 月に返還され、同年 7 月に宜野湾市が跡地利用計画を策定した。西普天間住宅地区跡地は沖縄健康医療拠点の形成が検討されており、今後の沖縄振興に資するものと期待されている。

昨年度は、キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区において、周辺地域との関係性を加えた検討を行い、跡地利用推進法に規定する総合整備計画策定に向けた整理を行った。

本検討調査では、総合整備計画に掲げる各項目について、キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区周辺地域の課題解決に向け、県道宜野湾北中城線南側（普天間・野嵩・新城・喜友名周辺）の市街地環境改善の検討及び普天間高校の移設に向けた飛び施行地区設定の可能性検討を行った。また、過年度に実施した広域的観点からの当該地区における都市基盤整備（交通通信体系、生活環境、自然環境の保全及び回復、良好な景観の形成、その他地域の総合整備）に関する整理に加え、インダストリアル・コリドー南側部分の検討を行った。以上の検討をもとに、関係機関との調整内容や意見を踏まえて、総合整備計画の更新案を作成した。

## 2. 関連計画における位置づけ等の更新状況

### (1) 西普天間住宅地区に係る関連計画等の更新状況

関連計画等	策定主体	昨年度の 反映時点	更新時点	反映内容
経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）	閣議決定	平成 27 年 6 月	平成 29 年 6 月	・沖縄健康医療拠点の形成、普天間高校に係る文言反映
西普天間住宅地区における国際医療拠点の形成に関する協議会報告	内閣府		平成 29 年 4 月	・沖縄健康医療拠点の骨格を反映
沖縄 21 世紀ビジョン	沖縄県	平成 22 年 3 月	—	—
沖縄 21 世紀ビジョン基本計画	沖縄県	平成 24 年 5 月	平成 29 年 5 月 [改定計画]	・沖縄健康医療拠点の形成に向けた取り組みの位置づけが追加
那覇広域都市計画「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」	沖縄県		平成 28 年 7 月 (原案)	・確認（反映なし）
沖縄県広域緑地計画	沖縄県	平成 14 年 3 月	改定中	* 策定後、更新
宜野湾市都市計画マスタープラン	宜野湾市	平成 16 年 10 月	平成 29 年 12 月 [改定計画]	・将来都市構造の展開方向等に関する記述の更新
宜野湾市景観計画	宜野湾市	平成 27 年 11 月	—	—
キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）跡地利用計画	宜野湾市	平成 28 年 5 月 (更新版)	平成 30 年 2 月 (変更)	・跡地利用計画の変更を反映
周辺道路交通量（交通センサス 24h 交通量）	国土交通省	平成 22 年度	平成 27 年度	・周辺道路交通量の更新
沖縄地方渋滞対策推進協議会報告	内閣府	平成 25 年 1 月	平成 29 年 8 月	・主要渋滞箇所, 交差点の更新
緊急輸送道路ネットワーク計画	沖縄県	平成 23 年 3 月	—	—

(2) 各関連計画の反映内容整理

(2) - 1 経済財政運営と改革の基本方針 2017(骨太の方針)

(平成 29 年 6 月 9 日閣議決定)

- 成長するアジアの玄関口に位置付けられるなど、沖縄の優位性と潜在力を活かして、日本のフロントランナーとして経済再生の牽けん引役となるよう、引き続き、国家戦略として、沖縄振興策を総合的・積極的に推進する。
- 国家戦略特区の活用のほか、那覇空港の滑走路増設、クルーズ船の寄港受入れのための港湾整備を通じて、観光振興、国際物流拠点の形成を図るとともに、沖縄科学技術大学院大学の規模拡充に向けた検討や知的・産業クラスター形成、子供の貧困対策、人材育成の推進を図る。
- 西普天間住宅地区跡地については、関係府省庁の連携の下、琉球大学医学部及び附属病院の移設に着手し、国際性・離島の特性を踏まえた、健康・医療分野での先端的な研究など高度な医療機能の導入をはじめとする沖縄健康医療拠点の形成を進める。さらに、普天間高校を活用した人材育成拠点の形成を図る。

\* 「国際医療拠点」構想の検討の深化により、目指す方向性が『国際性・離島の特性を踏まえた「沖縄健康医療拠点」』として明確化されるとともに、普天間高校の活用（地区内移転）についての位置づけが追加

(2) - 2 西普天間住宅地区における国際医療拠点の形成に関する協議会報告

(平成 29 年 4 月 26 日)

- 高度医療・研究機能の拡充
  - ・沖縄バイオインフォメーションバンク
  - ・生物資源ライブラリ
  - ・感染症対策
  - ・創薬開発・医工連携
- 地域医療水準の向上
  - ・県内医療機関への医師派遣機能の強化
  - ・県内医療機関が連携した臨床研修の実施
  - ・がんセンターの機能強化
  - ・救急医療及び災害医療体制の整備
- 国際研究交流、医療人材育成
  - ・国際的な研究交流
  - ・先進医療に必要な人材の育成
  - ・地域医療に必要な人材の育成

\* 国際医療拠点の大意が『国際性・離島の特性を踏まえた「沖縄健康医療拠点」』と示された

(2) - 3 沖縄 21 世紀ビジョン基本計画[改定計画] (平成 29 年 5 月)

○施策展開 (駐留軍用地跡地の有効利用の推進)

- ・ 早期の事業着手に向けた取組み
- ・ 駐留軍用地跡地の計画的な整備
- ・ 跡地における産業振興及び国際交流・貢献拠点の形成
- ・ 返還跡地国家プロジェクトの導入

→平成 27 年 3 月に返還された西普天間住宅地区跡地については、国、宜野湾市、琉球大学等と連携し、琉球大学医学部及び同附属病院の移設を中心とする国際性・離島の特性を踏まえた、沖縄健康医療拠点の形成に向けて取り組む。

- ・ 駐留軍用地跡地利用推進についての協議

→西普天間住宅地区跡地においては、国、関係市町村、地主会等の地元関係者との連携強化を図り、返還跡地の利用計画や支障除去措置等について協議を行うなど、跡地利用の円滑な推進に向けて取り組む。

○圏域別展開の基本方向 (中部圏域)

- ・ キャンプ瑞慶覧の跡地については、骨格的な道路網の整備や新たな公共交通システム、住宅、商業・業務棟の多様な機能の導入を検討する。
- ・ 西普天間住宅地区跡地については、国、宜野湾市、琉球大学等と連携し、琉球大学医学部及び同附属病院の移設を中心とする国際性・離島の特性を踏まえた沖縄健康医療拠点の形成に向けて取り組む。

\*H27.3 の西普天間地区返還及び H29.4 の西普天間住宅地区における国際医療拠点の形成に関する協議会報告を受け、沖縄健康医療拠点形成に向けた取組みや跡地利用の円滑な推進に関する記述が追加

(2) - 4 那覇広域都市計画「都市計画の整備、開発及び保全の方針」原案  
(平成 28 年 7 月)

○施策展開（駐留軍用地の土地利用に関する方針）

- ・土地区画整理事業等による計画的な面整備並びに地区計画等による良好な住環境の形成、跡地利用を先導する中核的施設の導入や基幹道路の適正な配置等、総合的かつ計画的な推進。
- ・都市機能の再編・再整備による活力と潤いのある連担した一体的都市圏形成の推進。
- ・西普天間住宅地区においては、国際医療拠点の核となる高度医療機能等を中心とし、教育・人材育成機能、居住機能、生活サービス機能の導入を図る。
- ・駐留軍用地跡地に残る貴重な自然環境については、各種制度を活用し保全・創出・回復を図るとともに、戦争により失われた文化財や風景・景観の復元、水・緑・生態系の再生を図り沖縄らしい風景づくりや新たな風景の創出に取り組む。

\* 西普天間住宅地区周辺においては、宜野湾市中心部が新たに都市拠点に位置付けられるとともに、「新たな公共交通」として構想されていた東側ルートが削除に

\* また、駐留軍跡地については、自然環境の保全再生や景観づくり等に関する記述が強化

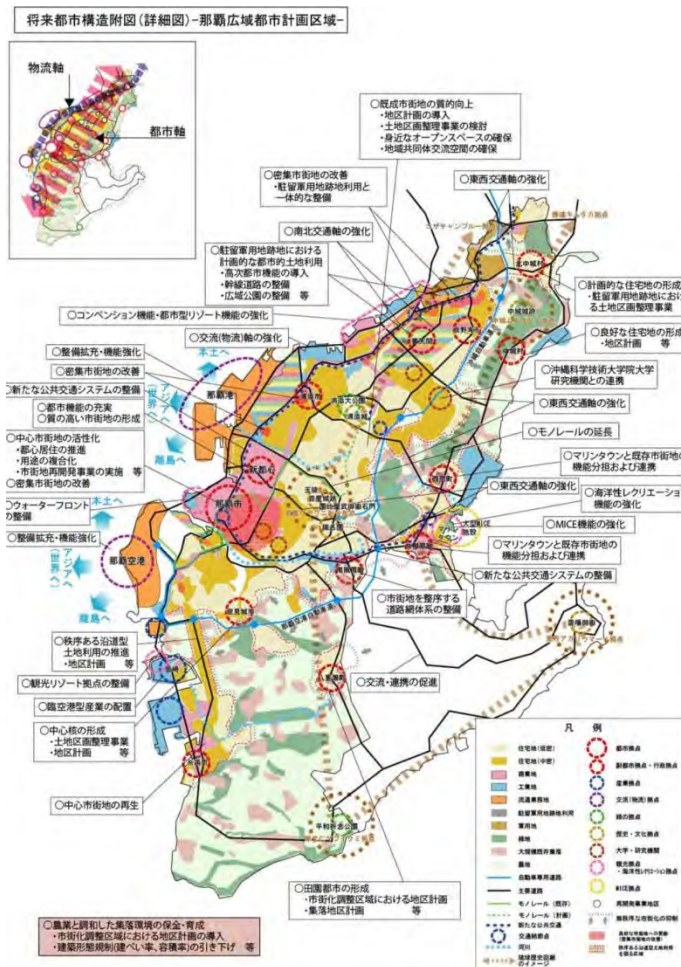


図 I-2-1 将来都市構造附図一那覇広域都市計画区域一

(2) - 5 宜野湾市都市計画マスタープラン（平成 29 年 12 月改定）

- 普天間飛行場跡地における新たな都市機能の導入及び西普天間住宅地区跡地における国際医療拠点の形成をベースに、既に開発の進められている西海岸のコンベンション・リゾートエリアや研究・学園都市拠点等との連携や既成市街地の環境改善に普天間飛行場跡地を活用するなど、都市構造の転換を進める。
- 西海岸のコンベンション・リゾートエリアから市城南東部の学園都市ゾーンにかけてを市の新たな発展の軸（新交流軸）、中南部都市圏を縦断する基幹都市軸を新たな都市構造上の都市軸と位置づけるとともに、現在の中心市街地の再構築を進めることにより拠点性の確保を目指し、基幹都市軸を中心とした都市構造へ転換し、効率的な市街地形成を誘導。

\* 基地跡地利用を契機に、基幹都市軸を中心とした都市構造へ転換することが強調

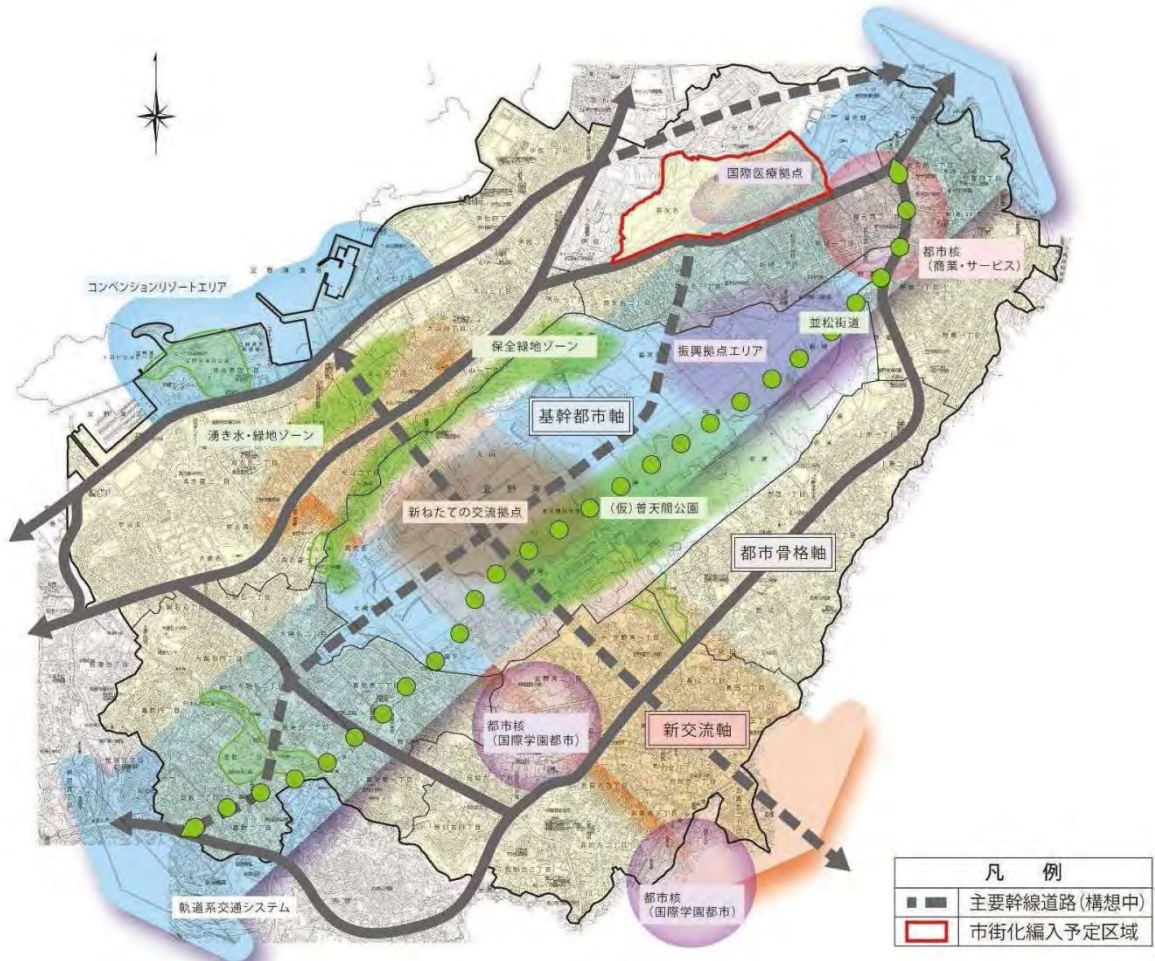


図 I -2-2 宜野湾市将来都市構造図

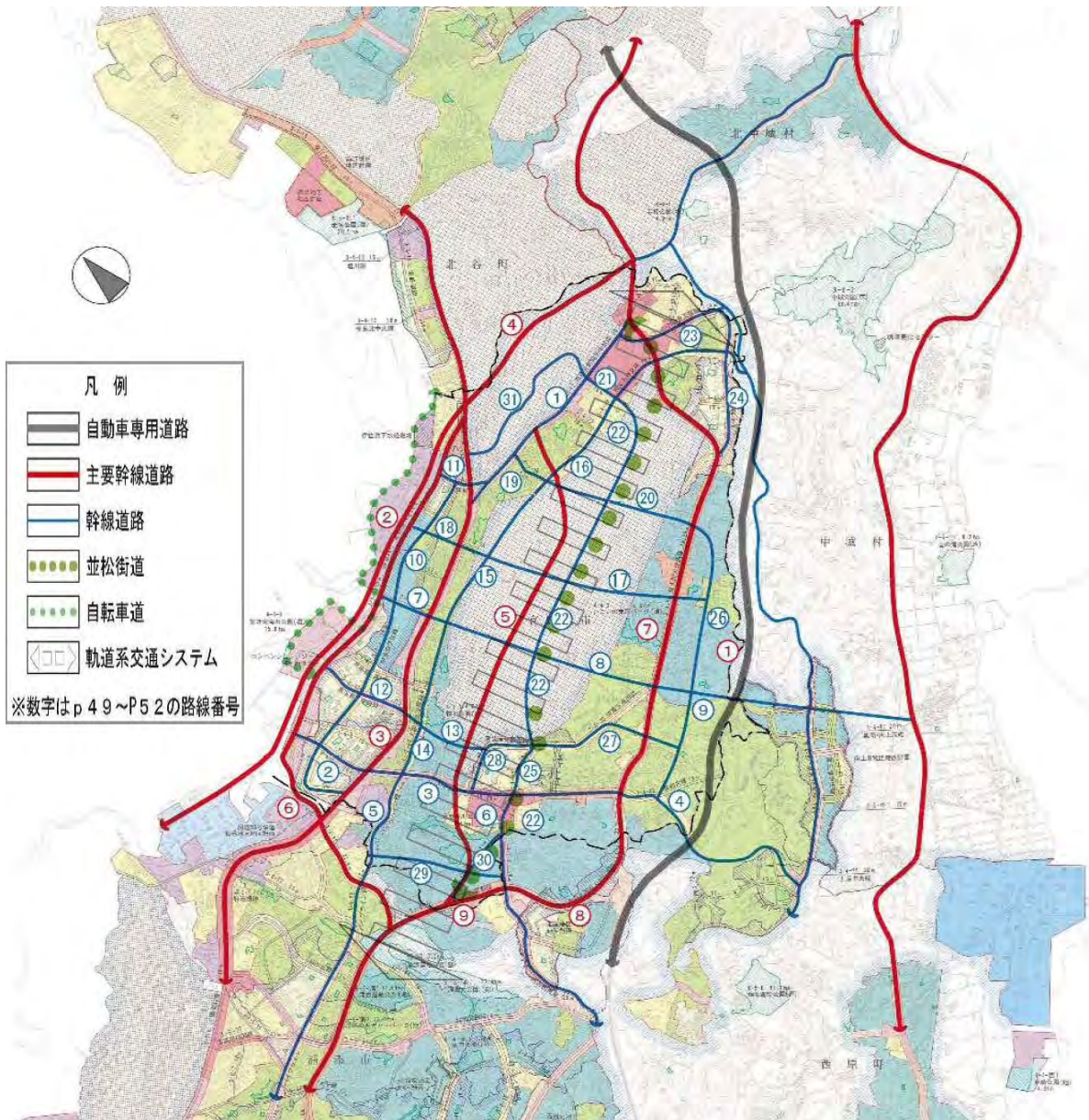


図 I -2-3 宜野湾市将来道路網計画図



**(2) - 6 宜野湾市景観計画（平成 27 年 11 月/宜野湾市）※参考**

○景観づくりの基本方針

- ・宜野湾市らしい地形・自然を活かした潤いと安らぎのある景観づくり
- ・市民が誇りに思える宜野湾らしい顔のある景観づくり
- ・市民が愛着を持って快適に暮らせる景観づくり
- ・一人ひとりが主役となって協働する景観づくり

○景観形成重点地区の選定

- ・キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）一帯を景観重点地区の候補とし、宜野湾市の良好な景観づくりの先導的役割を担う重要な地区と位置付け、指定に向けて取り組む。
- ・「明るい未来を拓く新しいまちの顔としてふさわしい景観の創出」を図るモデル地区としての指定を検討。

○西普天間住宅地区の景観づくりの基本的な考え方

- ・緑を多く取り込んだ潤いと安らぎある住宅地景観の創出
- ・斜面地緑地や県道からの海への眺望を活かした美しい眺望景観の創出
- ・跡地利用計画に応じた各地区でのまとまりある良好な街並みの創出
- ・喜友名グスク・喜友名泉等の自然・伝統的景観の保全

(2) - 7 キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）跡地利用計画

(平成 30 年 2 月変更)

○変更内容

- ・ 県道 81 号線沿道の住宅等ゾーンを延伸
- ・ 緑地（イシジャー）東側を住宅等ゾーンに変更
- ・ 墓地ゾーンの位置を明示
- ・ 「沖縄健康医療拠点」に名称変更
- ・ 鉄塔についての取組みを追加記載

<p><b>沖縄健康医療拠点ゾーン</b> (約 16ha)</p>	<p>医療や健康をテーマとした特徴的なまちづくりの中核となる琉球大学医学部及び同附属病院の移設や重粒子線治療施設の設置検討により計画</p>
<p><b>人材育成拠点ゾーン</b> (約 5ha)</p>	<p>地域の将来を支える人材育成のため、普天間高校の移設を想定した計画</p>
<p><b>住宅等ゾーン</b> (約 13～14ha)</p>	<p>みどり・水・文化財等により、潤いのある住環境を整えたエリアを中心に、住宅等ゾーンとして区画道路等を含み計画 県道宜野湾北中城線（県道 81 号線）沿道には、商業利用も想定したエリアを計画</p>
<p><b>都市公園</b> (約 11ha)</p>	<p>本地区の貴重な地域資源である湧水、文化財及び自然環境の保全・活用を図るため、地区面積の約 20%を都市公園として計画</p>
<p><b>管理型墓地ゾーン</b> (約 1ha)</p>	<p>本市北部・西部地域に増加する墓地需要に対応するため、都市公園に隣接した市営墓地を計画</p>

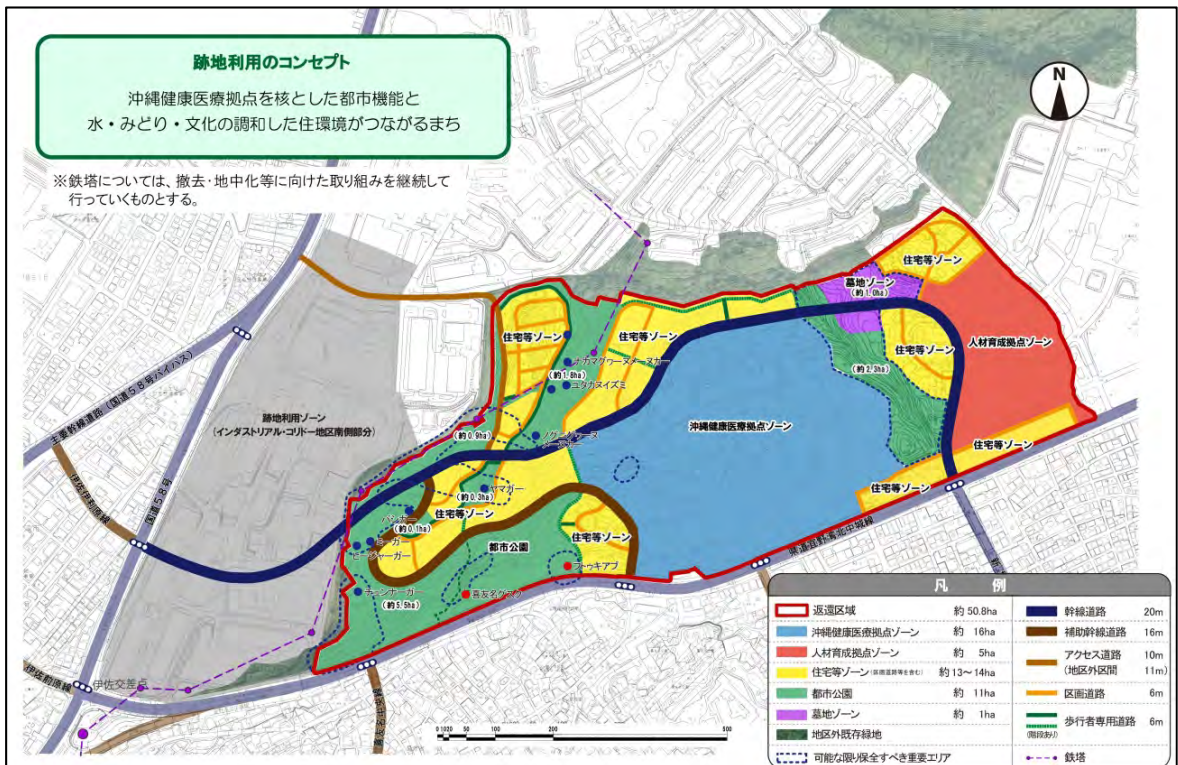


図 I -2-4 西普天間住宅地区跡地利用計画図

**(2) - 8 周辺道路交通量 (交通センセス 24h 交通量) (平成 28 年 3 月)**

- 国道 58 号 (国道 58 号宜野湾バイパス～宜野湾北中城線) : 24 時間車類交通量 /57,888(台)
- 国道 330 号 (宜野湾市北中城村境～宜野湾北中城線) : 24 時間車類交通量 /47,118(台)
- 県道宜野湾北中城線 (国道 58 号～国道 330 号) : 24 時間車類交通量/30,704(台)

**(2) - 9 沖縄地方渋滞対策推進協議報告書 (平成 29 年 8 月)**

- 西普天間住宅地区周辺では主要渋滞箇所には伊佐交差点、普天間交差点が指定

### 3. 県道宜野湾北中城線南側の市街地環境改善の検討

#### (1) 現況及び課題の把握

##### (1) - 1 対象エリアと調査フロー

字喜友名、字新城、字普天間、字野嵩を対象として現状の把握を行い、県道宜野湾北中城線南側の市街地における課題を抽出する。

また、他地区と比べ課題が抽出された字において、地区の特徴を分析し、特に市街地環境の改善が必要なエリアを特定する。



図 I-3-1 対象エリア

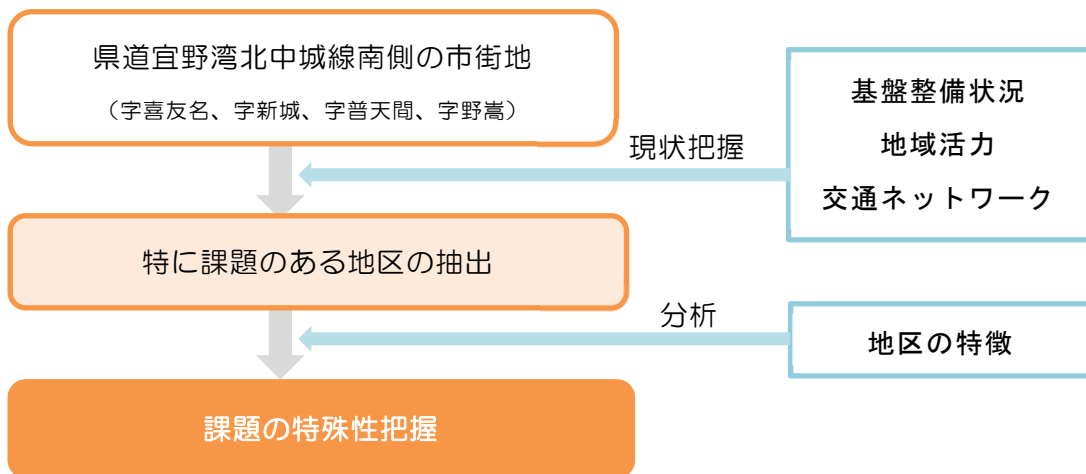


図 I-3-2 県道宜野湾北中城線南側の市街地における課題調査フロー

(1) - 2 現状把握

(1) - 2 - 1 基盤整備状況の把握

1. 区画整理実施状況

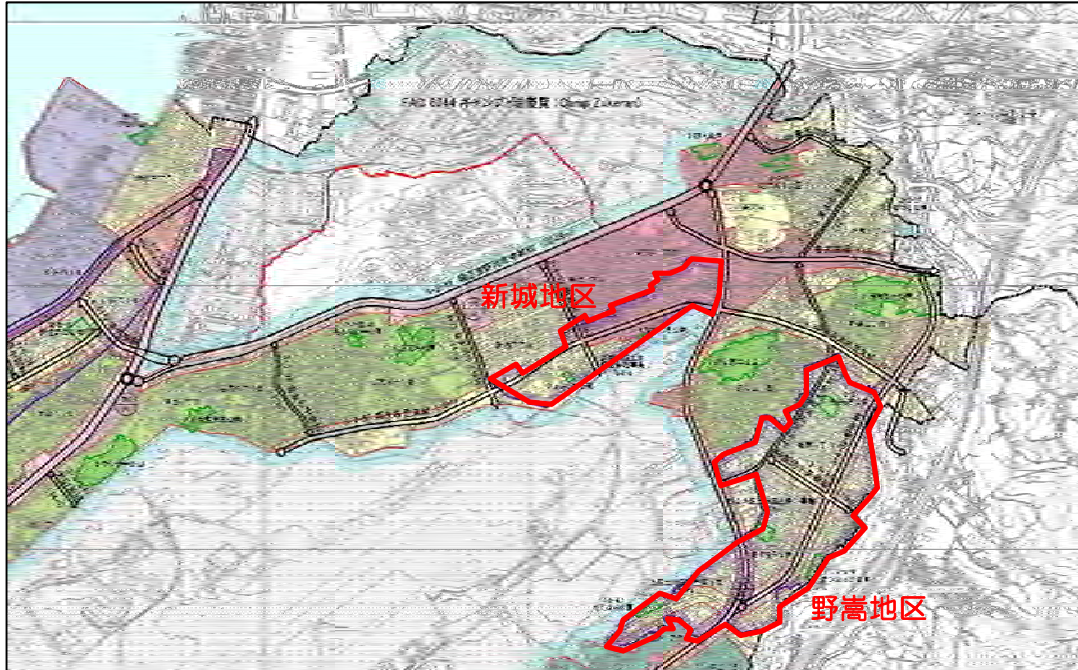


図 I-3-3 平成 28 年度都市計画図

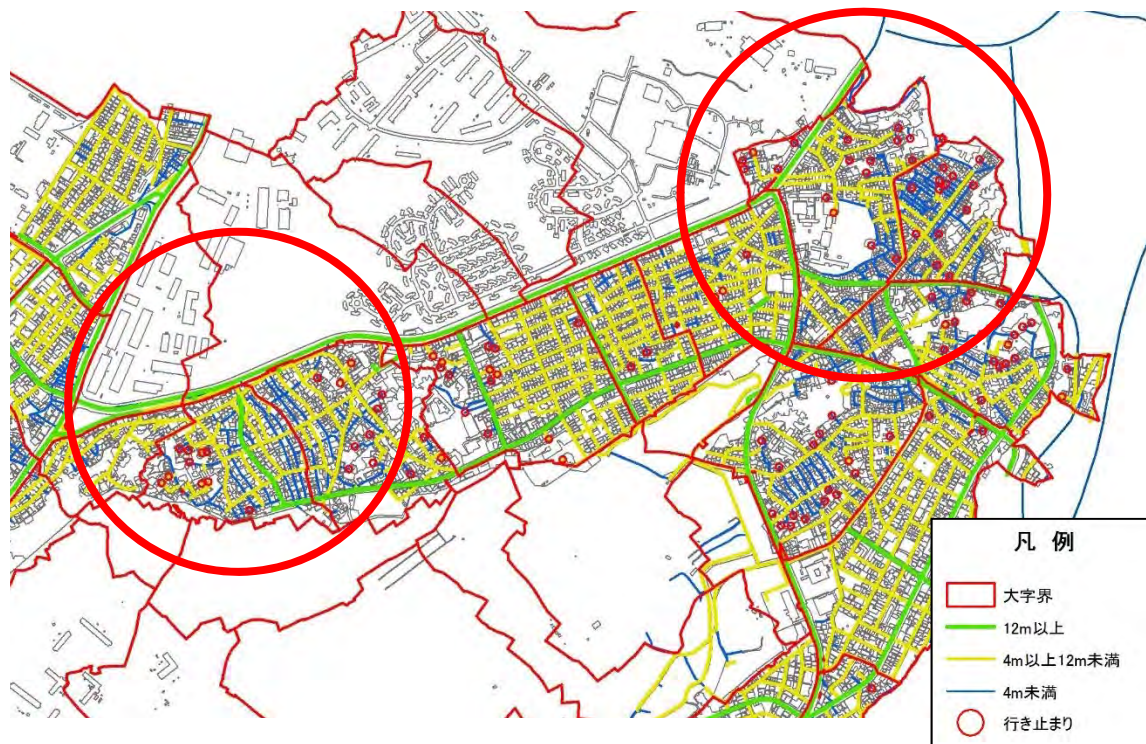
表 I-3-1 区画整理事業概要

地区名	施行面積 (ha)	事業主体	事業期間	備考
新城地区	15.6	市	昭和 41 年 ～昭和 47 年	旧都市計画法 13 条
野嵩地区	33.7	市	昭和 47 年 ～平成 3 年	

出典：平成 20 年度 普天間飛行場跡地利用計画に係る周辺市街地整備調査業務

- ・新城 1 丁目・新城 2 丁目・普天間 2 丁目、野嵩 1 丁目において過去に土地区画整理事業が実施され基盤整備がなされている。
- ・新城地区では事業完了から約 50 年、野嵩地区では事業完了から約 30 年経過している。

2. 狭隘道路・行き止まり道路の状況



出典：平成 18 年度都市計画基礎調査

図 I-3-4 狭隘道路、行き止まり道路の分布

- ・土地区画整理が実施されなかったエリアには、4 m 未満の狭隘道路や、行き止まりが多数存在する。
- ・特に、普天間 1 丁目の一部（普天間高校東側）から、野嵩 4 丁目、野嵩 3 丁目にかけて、4 m 未満の狭隘道路、行き止まり道路が多く分布している。
- ・字喜友名においても狭隘道路や行き止まり道路が分布しているが、狭隘道路は幅員 3 m 以上の道路が多く、車両通過が可能である。行き止まり道路は、学校や墓地群周辺に分布している。また、県道宜野湾北中城線へのアクセス経路は確保されている。

3. 建築物年齢現況、木造率現況

・建物年齢別現況

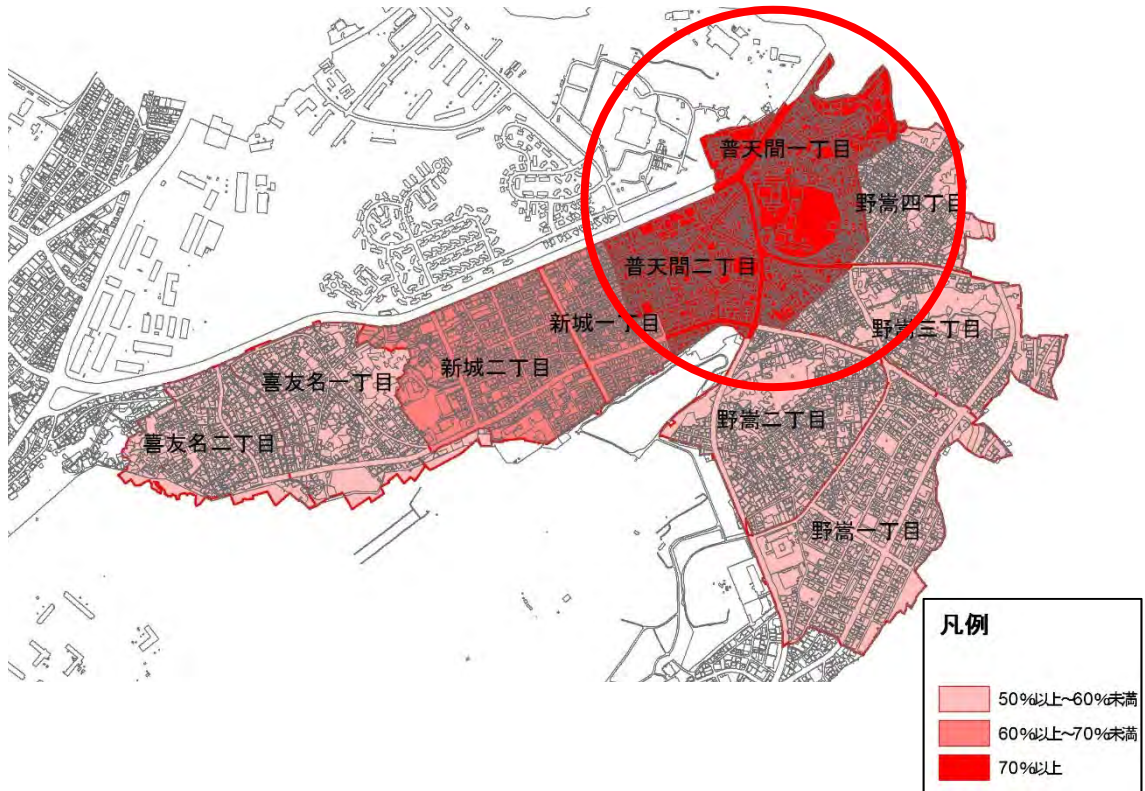


図 I -3-5 築 30 年以上の建物比率の分布

表 I -3-2 築 30 年以上の建物比率の分布

地区名	全建物 棟数	30年以上	
		棟数	比率
	棟	棟	%
野嵩	2,416	1,396	57.8
普天間	1,560	1,127	72.2
新城	1,268	862	68.0
喜友名	955	523	54.8
宜野湾市 合計	25,873	12,213	47.2

資料：「家屋課税台帳」

出典：平成 23 年度都市計画基礎調査

・ 地区別木造率現況

表 I -3-3 地区別木造率の現況

地区名	全建物棟数	全建物 延床面積	木造建物			
			棟数	比率	延床面積	比率
	棟	m <sup>2</sup>	棟	%	m <sup>2</sup>	%
野 嵩	2,416	268,485.00	109	4.5	5,678.37	2.1
普天間	1,560	210,769.52	153	9.8	10,534.99	5.0
新 城	1,268	161,704.51	35	2.8	2,398.79	1.5
喜友名	955	109,283.26	26	2.7	1,562.25	1.4
宜野湾市 合計	25,873	3,704,052.82	632	2.4	43,049.64	1.2

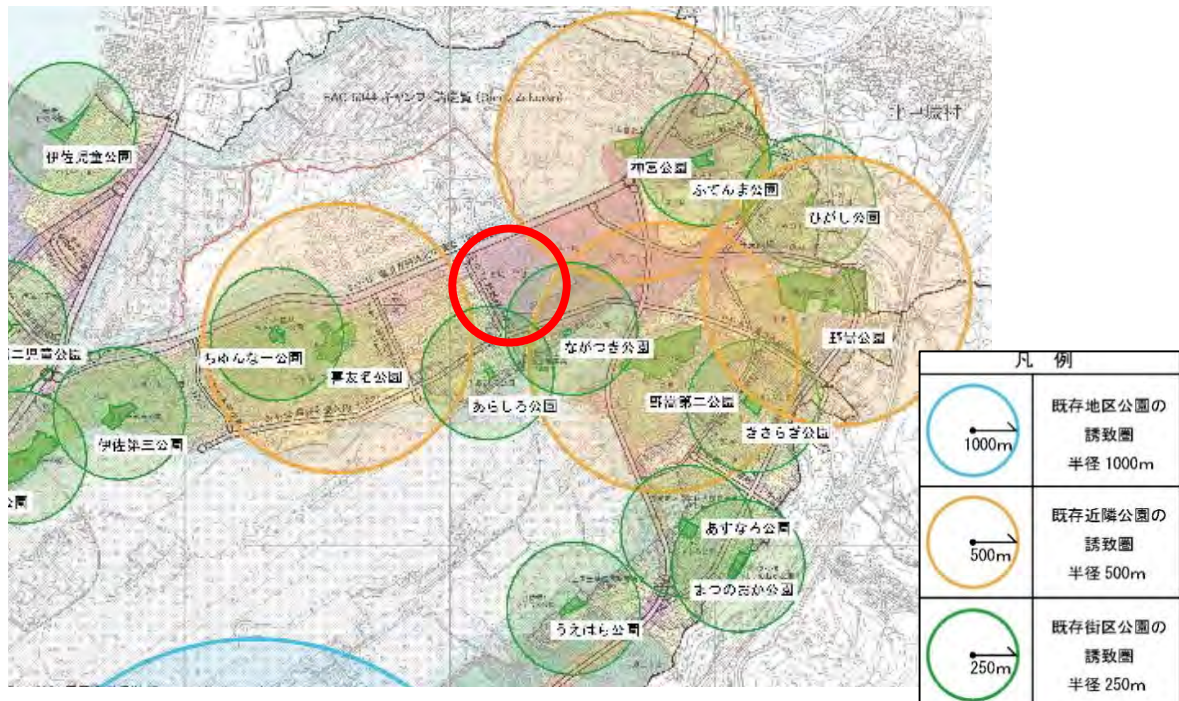
資料:「家屋課税台帳」

出典:平成 23 年度都市計画基礎調査

- ・ 宜野湾市全体と比較すると、各字で築 30 年以上建築物、木造建築物が多く分布している。調査時から 5 年以上経過した現在は、さらに多くの老朽建築物が増加していることが予想される。
- ・ 字普天間においては、築 30 年以上の建物が地区内建物の 70%以上を占めている上に、木造建築物の比率も他地区と比較して多く分布している。

4. 公園、緑地不足

・ 公園誘致圏区域



出典:平成 28 年度拠点返還地(西普天間住宅地区)に関する市北部地域のランドデザインの実現に関する調査

図 I -3-6 公園の誘致圏

- ・ 新城 1 丁目において、一部公園誘致圏に含まれないエリアがある。



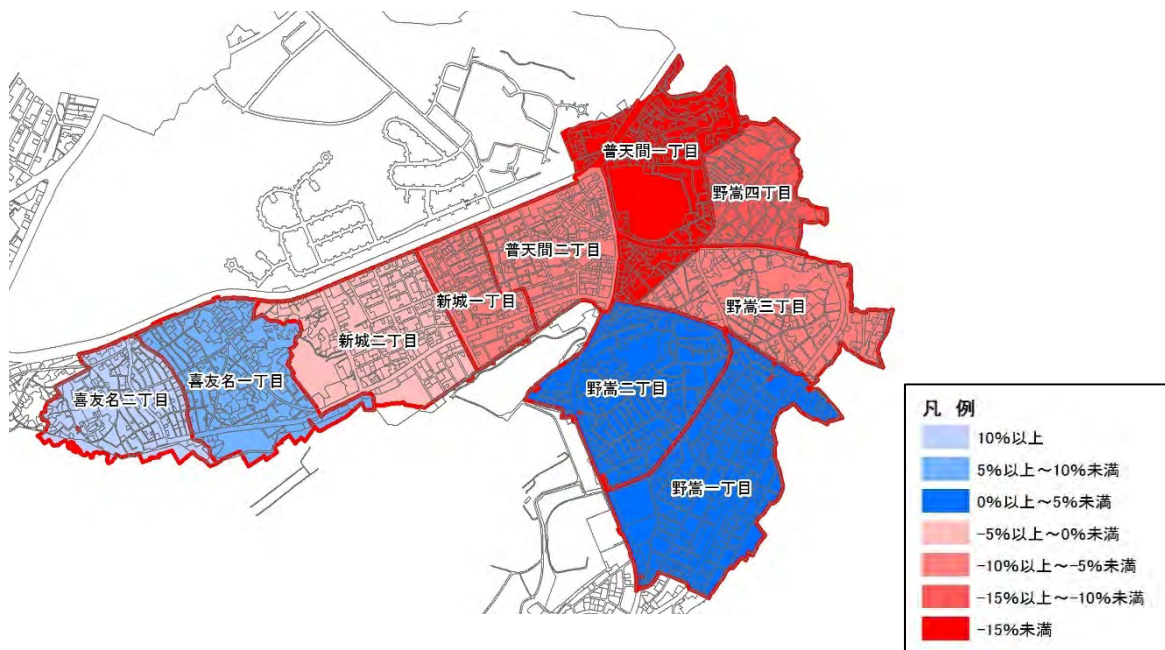
(1) - 2 - 2 地域活力の把握

1. 人口推移

・人口

表 I-3-4 人口推移

	平成17年	平成22年	平成27年	増減(%)
沖縄県	1,361,594	1,392,818	1,433,566	5.30%
宜野湾市	89,769	91,928	96,243	7.20%
喜友名・新城・普天間・野嵩	19,590	19,029	18,868	-3.70%
	平成17年	平成22年	平成27年	増減(%)
喜友名	2,930	2,916	3,198	9.10%
喜友名 1 丁目	1,749	1,710	1,878	7.40%
喜友名 2 丁目	1,181	1,206	1,320	11.80%
新城	4,442	4,343	4,186	-5.80%
新城 1 丁目	1,599	1,584	1,454	-9.10%
新城 2 丁目	2,843	2,759	2,732	-3.90%
普天間	4,180	3,827	3,710	-11.20%
普天間 1 丁目	2,045	1,816	1,718	-16.00%
普天間 2 丁目	2,135	2,011	1,992	-6.70%
野嵩	8,038	7,943	7,774	-3.30%
野嵩 1 丁目	3,119	3,153	3,160	1.30%
野嵩 2 丁目	1,999	2,078	2,014	0.80%
野嵩 3 丁目	1,546	1,472	1,414	-8.50%
野嵩 4 丁目	1,374	1,240	1,186	-13.70%



出典：平成 17 年、22 年、27 年国勢調査結果

図 I-3-7 人口増減の割合分布

・ 年齢別人口

表 I -3-5 年齢別人口推移

	0～14歳			15～34歳			65歳以上		
	人口		増減(%)	人口		増減(%)	人口		増減(%)
	H17	H27	H17→H27	H17	H27	H17→H27	H17	H27	H17→H27
沖縄県	254,203	247,206	-2.80%	370,856	320,953	-13.50%	218,897	278,337	27.20%
宜野湾市	17,331	16,900	-2.50%	27,565	23,805	-13.60%	11,589	15,950	37.60%
喜友名・新城・普天間・野嵩	7,644	6,626	-13.30%	10,810	8,384	-22.40%	6,288	7,250	15.30%

町名	0～14歳			15～34歳			65歳以上		
	人口		増減(%)	人口		増減(%)	人口		増減(%)
	H17	H27	H17→H27	H17	H27	H17→H27	H17	H27	H17→H27
喜友名	594	635	6.90%	905	751	-17.00%	357	484	35.60%
喜友名1丁目	365	398	9.00%	568	452	-20.40%	174	251	44.30%
喜友名2丁目	229	237	3.50%	337	299	-11.30%	183	233	27.30%
新城	870	706	-18.90%	1,233	927	-24.80%	743	817	10.00%
新城1丁目	313	230	-26.50%	410	298	-27.30%	299	311	4.00%
新城2丁目	557	476	-14.50%	823	629	-23.60%	444	506	14.00%
普天間	709	555	-21.70%	1,104	761	-31.10%	815	868	6.50%
普天間1丁目	340	245	-27.90%	550	326	-40.70%	417	432	3.60%
普天間2丁目	369	310	-16.00%	554	435	-21.50%	398	436	9.50%
野嵩	1,649	1,417	-14.10%	2,163	1,753	-19.00%	1,229	1,456	18.50%
野嵩1丁目	748	621	-17.00%	903	797	-11.70%	305	465	52.50%
野嵩2丁目	403	371	-7.90%	547	463	-15.40%	316	374	18.40%
野嵩3丁目	273	229	-16.10%	396	273	-31.10%	289	334	15.60%
野嵩4丁目	225	196	-12.90%	317	220	-30.60%	319	283	-11.30%

- ・ 沖縄県、宜野湾市の人口は増加傾向に対し、県道宜野湾北中城線南側（喜友名、新城、普天間、野嵩）地区については、全体として減少傾向。
- ・ 字喜友名は唯一増加傾向。字新城、字普天間、字野嵩は減少傾向。
- ・ 特に普天間高校のある普天間1丁目とその隣接の野嵩4丁目の人口減少が著しい。
- ・ 県道宜野湾北中城線南側（喜友名、新城、普天間、野嵩）地区については、沖縄県、宜野湾市と比較して、年少人口（0～14歳）及び若年人口（15～34歳）の減少が著しい。
- ・ 特に、新城1丁目、字普天間における年少人口の減少が著しく、字普天間においては、若年人口の減少も著しい。字普天間において若年層の流出が、他地区と比較して進んでいる。
- ・ 各字で高齢者人口（65歳以上）が増加傾向であるが、字喜友名、野嵩1丁目の高齢化が、他地区と比較して進んでいる。

2. 地価

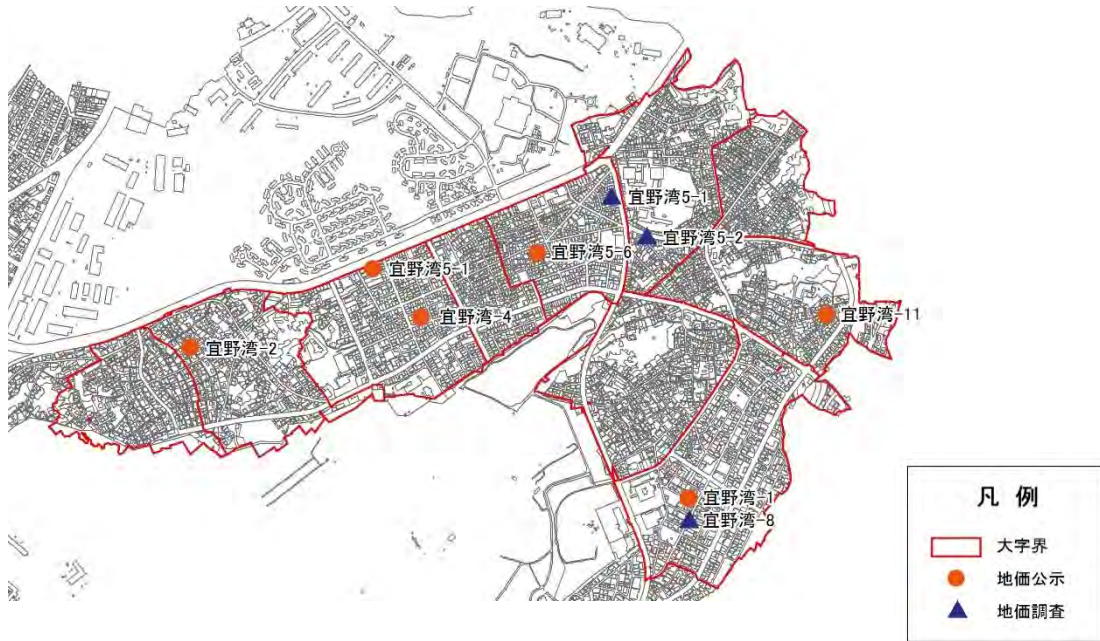


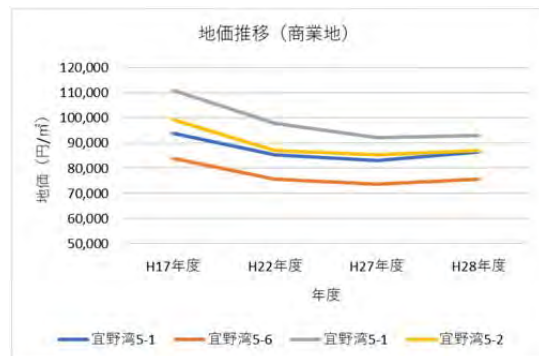
図 I -3-8 地価公示地点の位置

表 I -3-6 地価推移

●居住地地価 (円/㎡)						
地点	町名	H17年度	H22年度	H27年度	H28年度	備考
宜野湾-2	喜友名1丁目	68,800	63,300	64,200	67,700	国土交通省地価公示
宜野湾-4	新城2丁目	-	-	71,000	73,900	国土交通省地価公示
宜野湾-1	野嵩1丁目	83,300	79,400	82,600	88,400	国土交通省地価公示
宜野湾11	野嵩3丁目	-	-	64,000	65,300	国土交通省地価公示
宜野湾-8	野嵩1丁目	84,600	80,000	81,600	85,900	都道府県地価調査

●商業地地価 (円/㎡)						
地点	町名	H17年度	H22年度	H27年度	H28年度	備考
宜野湾5-1	新城2丁目	93,900	85,500	83,100	86,500	国土交通省地価公示
宜野湾5-6	普天間2丁目	83,900	75,800	73,800	75,700	国土交通省地価公示
宜野湾5-1	普天間2丁目	111,000	98,000	92,200	93,100	都道府県地価調査
宜野湾5-2	普天間1丁目	99,500	87,200	85,500	87,200	都道府県地価調査



- ・住宅地地価が平成 22 年度以降、上昇傾向にあるのに対し、商業地地価が下降傾向にある。
- ・野嵩 1 丁目の住宅地地価が上昇傾向にある。
- ・その他の地区については、平成 17 年度に比べて、住宅地、商業地ともに地価が下落している。※宜野湾-4、宜野湾-1 1 除く

3. 地域コミュニティ

・自治会活動の種類

表 I-3-7 地区別自治会活動の種類

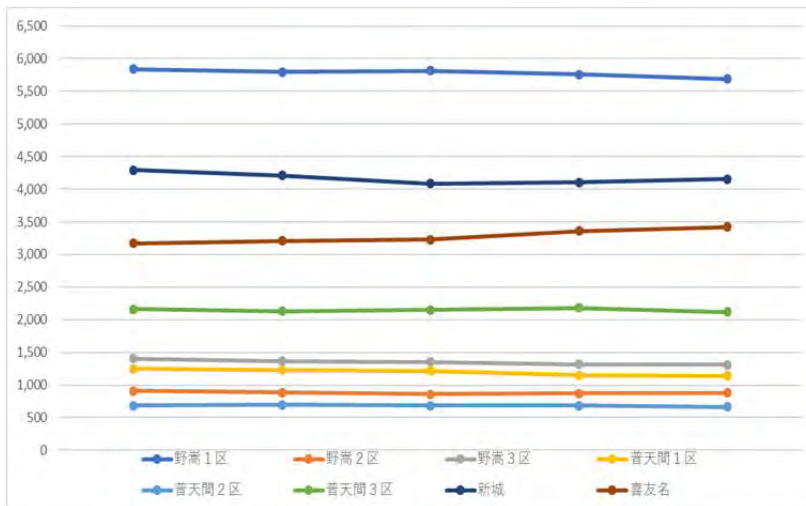
地区名	年間行事	活動種類					
野嵩 1 区	定期総会	組織運営					
	子育てサロン	通年活動					
	のいちご食堂	通年活動					
	区内清掃	美化活動					
	七月あしび、ちなひちもうい大会	イベント					
	子ども会エイサー道ジュネー	イベント					
	ウチチウマチー	イベント	組織運営	1 種類			
	区民ピクニック	イベント	通年活動	2 種類			
	区民グランドゴルフ大会	イベント	美化活動	1 種類			
	敬老会	イベント	イベント	7 種類			
	区民ウォーキング・餅つき大会	イベント	合計	11 種類			
野嵩 2 区	定期総会	組織運営					
	自治会加入促進活動	組織運営					
	ミニデイサービスうりずんの会	通年活動					
	地域支え合い活動ていーだの会	通年活動					
	朝の見守り活動	通年活動					
	美化・ハルサー隊活動	通年活動					
	草刈作業	美化活動					
	美化活動・研修	美化活動					
	ミニデイサービスピクニック	イベント					
	はごろも祭り前夜祭	イベント					
	野嵩 2 区納涼夏祭り	イベント					
	敬老会	イベント	組織運営	2 種類			
	ミススポーツ・グランドゴルフ大会	イベント	通年活動	4 種類			
	三世代区民交流ピクニック	イベント	美化活動	2 種類			
	新春餅つき大会	イベント	イベント	8 種類			
	新1年生・13歳・85歳・97歳を祝う会	イベント	合計	16 種類			
野嵩 3 区	定期総会	組織運営					
	役員研修	組織運営					
	ミニデー	通年活動					
	古紙回収事業	通年活動					
	区内清掃	美化活動					
	はごろも祭り前夜祭	イベント					
	市・陸上競技大会	イベント					
	敬老会	イベント	組織運営	2 種類			
	体育行事	イベント	通年活動	2 種類			
	区民忘年会	イベント	美化活動	1 種類			
	新春餅つき大会	イベント	イベント	7 種類			
	学事奨励会	イベント	合計	12 種類			
	普天間 1 区	区民定期総会	組織運営				
		役員研修	組織運営				
		区内大清掃	美化活動				
		85歳・88歳 生年祝い	イベント				
はごろも祭り前夜祭		イベント					
青年会・子ども会エイサー		イベント					
敬老会		イベント					
区民ピクニック		イベント	組織運営	2 種類			
区民グランドゴルフ大会		イベント	通年活動	0 種類			
餅つき大会		イベント	美化活動	1 種類			
新年の挨拶		イベント	イベント	9 種類			
区民新年会		イベント	合計	12 種類			
普天間 2 区		自治会定期総会	組織運営				
		自治会加入促進	組織運営				
		区内清掃	美化活動				
		はごろも祭り前夜祭	イベント	組織運営	2 種類		
	敬老会	イベント	通年活動	0 種類			
	区民スポーツ大会	イベント	美化活動	1 種類			
	新年会	イベント	イベント	5 種類			
	区民ピクニック	イベント	合計	8 種類			
	普天間 3 区	定期総会	組織運営				
		ボランティア研修	組織運営				
		自治会促進強化活動	組織運営				
		役員研修	組織運営				
		ミニデイサービス	通年活動				
		区内清掃	美化活動				
		ラジオ体操及びエイサー練習	イベント				
		旧盆エイサー	イベント				
公民館まつり		イベント					
敬老会		イベント	組織運営	4 種類			
新春区民親睦スポーツ大会		イベント	通年活動	1 種類			
地域合同もちつき		イベント	美化活動	1 種類			
生年合同祝		イベント	イベント	8 種類			
新一年生交通・防犯教室		イベント	合計	14 種類			
新城		会計監査、定期総会	組織運営				
		新旧役員歓送迎会	組織運営				
	区内清掃	美化活動					
	区民スポーツ大会	イベント					
	夏祭り（はごろも祭り前夜祭）	イベント	組織運営	2 種類			
	敬老会	イベント	通年活動	0 種類			
	老人福祉事業（かりゆしピクニック）	イベント	美化活動	1 種類			
	新春の集い（公民館開き）	イベント	イベント	6 種類			
	子ども育成会行事	イベント	合計	9 種類			
	喜友名	定期総会	組織運営				
		役員視察研修	組織運営				
		ミニデー	通年活動				
		区内、公民館清掃	美化活動				
		区清明祭	イベント				
		慰霊祭	イベント				
		ウマチー	イベント				
敬老会		イベント					
はごろも祭り前夜祭		イベント					
トーカチ祝訪問		イベント					
区民グランドゴルフ大会		イベント					
カジマヤー		イベント					
公民館講座		イベント					
福祉ピクニック		イベント					
駅伝大会		イベント					
餅つき		イベント	組織運営	2 種類			
囲碁大会	イベント	通年活動	1 種類				
区民新年会	イベント	美化活動	1 種類				
生年合同祝	イベント	イベント	16 種類				
初拝み	イベント	合計	20 種類				

出典：平成 29 年度自治会活動広報紙より

・自治会加入人口推移

表 I-3-8 自治会加入人口の推移

	平成24年 1月	平成25年 1月	平成26年 1月	平成27年 1月	平成28年 1月
野嵩 1 区	5,839	5,794	5,812	5,756	5,692
野嵩 2 区	911	887	862	870	879
野嵩 3 区	1,406	1,368	1,352	1,314	1,310
普天間 1 区	1,247	1,228	1,216	1,149	1,139
普天間 2 区	681	698	685	681	667
普天間 3 区	2,162	2,133	2,147	2,179	2,119
新城	4,292	4,211	4,087	4,101	4,156
喜友名	3,172	3,211	3,230	3,358	3,424



出典：平成 24 年～平成 27 年 市人口統計（宜野湾市 HP）

- ・自治会活動の種類は、喜友名区が最も多く 20 種類の取り組みが行われている。
- ・野嵩 2 区、普天間 2 区、普天間 3 区では、自治会への加入促進活動や、ボランティア研修など活動継続のための組織運営活動が行われている。
- ・喜友名区において人口増加に伴い、自治会人口が増加している。その他の区においては、人口減少に伴い、自治会人口も減少している。
- ・野嵩 2 区、普天間 3 区、新城において、自治会人口が増加傾向である。

(1) - 2 - 3 交通ネットワーク

1. 交通現況

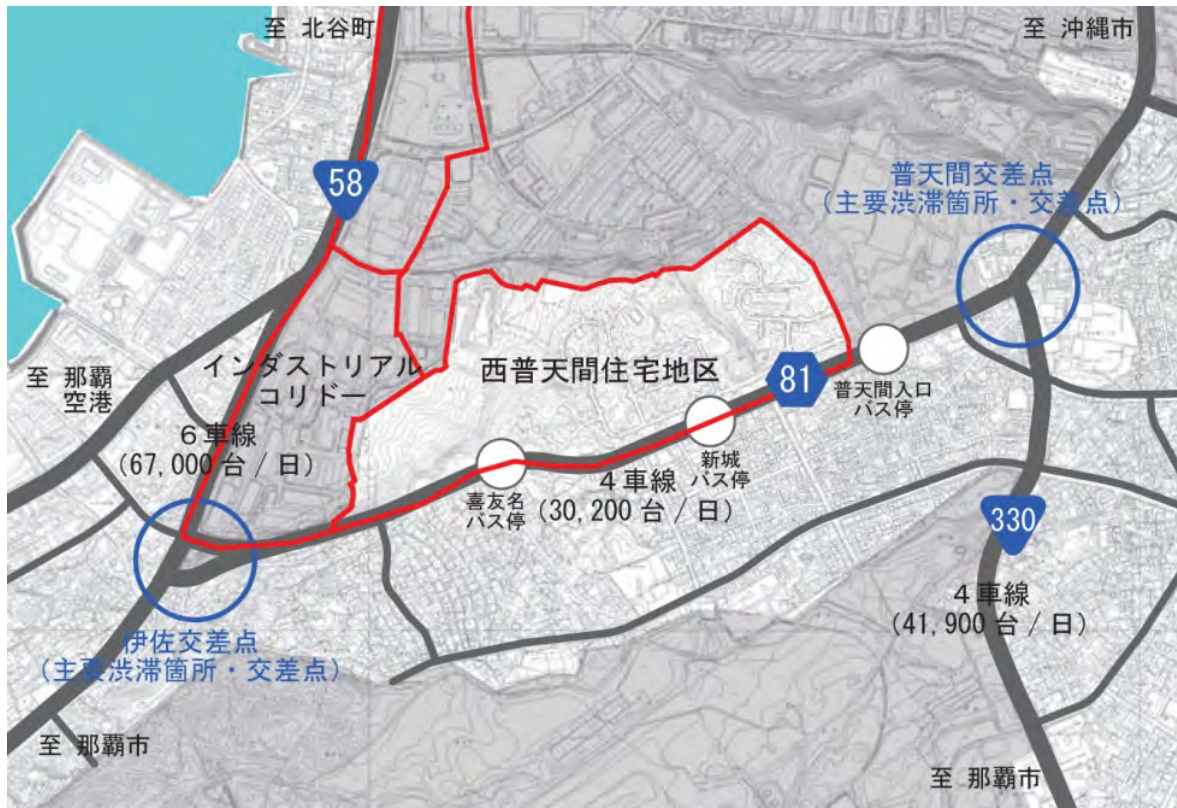


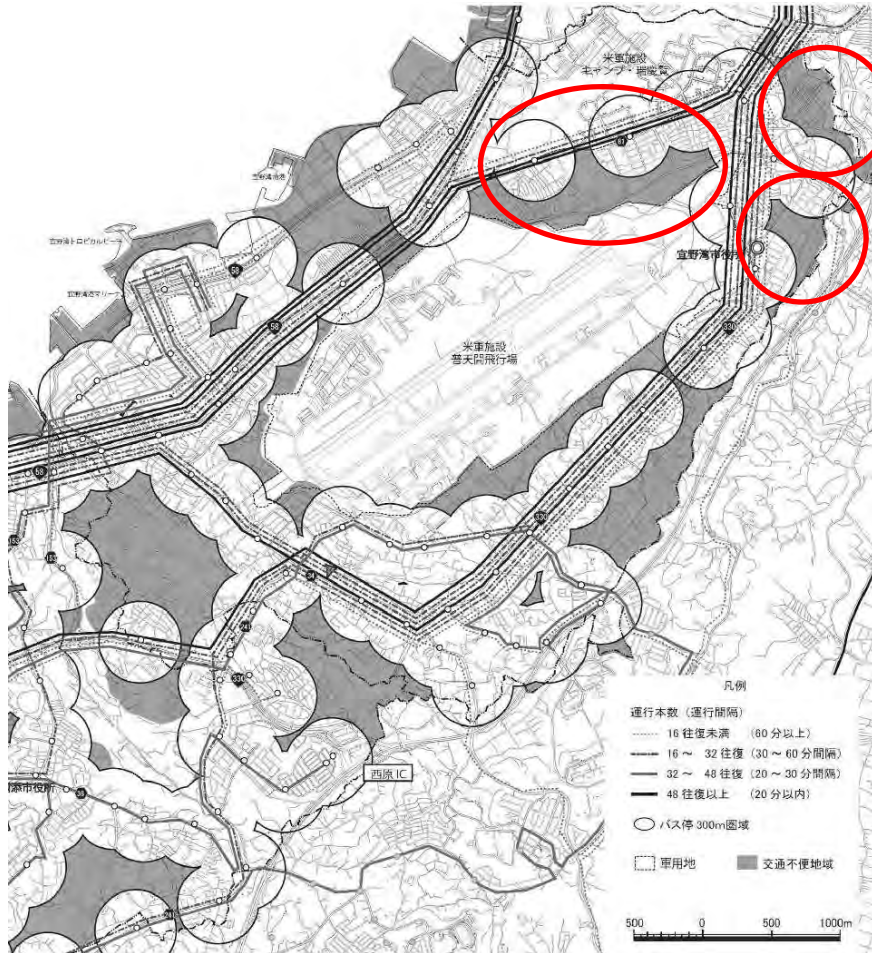
図 I-3-9 交通現況図

表 I-3-9 交通センサス

路線名	起点側	終点側	交通量調査 調査 単位区 間番号	昼間12時間自動車類交通量 (上下合計)			24時間自動車類交通量 (上下合計)			昼夜率	昼 間1 2時 間比 間率 (%)	昼大 間型 12車 時混 入率 (%)	混 雑 度		平成22年度	
				小型車 (台)	大型車 (台)	合計 (台)	小型車 (台)	大型車 (台)	合計 (台)				昼自 間動 12車 時類 間交 通量 (台)	24自 間動 車類 交 通量 (台)		
一般国道58号	県道130号線	北谷町・宜野湾市境	10200	43,319	4,076	47,395	52,656	10,379	63,035	1.33	10.3	8.6	1.39	41,703	58,384	
一般国道58号	北谷町・宜野湾市境	一般国道58号宜野湾ハイパス	10200	43,319	4,076	47,395	52,656	10,379	63,035	1.33	10.3	8.6	1.27	41,703	58,384	
一般国道58号	一般国道58号宜野湾ハイパス	宜野湾北中城線	10210	38,737	4,788	43,525	47,312	10,576	57,888	1.33	9.5	11.0	2.15	46,537	67,013	
一般国道58号	宜野湾北中城線	宜野湾西原線	10210	38,737	4,788	43,525	47,312	10,576	57,888	1.33	9.5	11.0	2.15	46,537	67,013	
一般国道58号宜野湾ハイパス	一般国道58号	宜野湾市・浦添市境	10340	19,674	1,993	21,667	27,378	2,306	29,684	1.37	11.1	9.2	1.52	18,470	25,358	
一般国道330号	北中城村・宜野湾市境	宜野湾北中城線	10830	32,797	2,366	35,163	44,178	2,940	47,118	1.34	10.5	6.7	2.01	34,504	50,031	
一般国道330号	宜野湾北中城線	県道35号線	10840	24,746	1,269	26,015	35,645	2,077	37,722	1.45	9.7	4.9	1.46	28,992	41,932	
一般国道330号	県道35号線	県道32号線	10840	24,746	1,269	26,015	35,645	2,077	37,722	1.45	9.7	4.9	1.46	28,992	41,932	
宜野湾北中城線	一般国道58号	一般国道330号	40730	20,366	1,186	21,552	29,287	1,417	30,704	1.42	10.7	5.5	.79	21,719	30,165	

出典：平成27年度交通センサス

2. 公共交通利用不便地域（バス停から 300m 以上）



資料：平成 21 年度沖縄本島中南部都市圏都市交通体系調査  
 出典：平成 23 年度都市交通マスタープラン都市交通戦略検討調査

図 I -3-10 バス利用不便地域

- ・幹線道路に自動車交通が発生し、慢性的な混雑状況を呈している。
- ・周辺道路の交通量（平成 27 年度交通センサス 24h 交通量）としては、県道宜野湾北中城線（30,704 台/日：混雑度 0.79：4 車線）、国道 58 号（63,035 台/日：混雑度 1.27：6 車線）、国道 330 号（47,118 台/日：混雑度 2.01：4 車線）となっている。
- ・国道 58 号と県道宜野湾北中城線の交差点である伊佐交差点及び、国道 330 号と県道宜野湾北中城線の交差点である普天間交差点については、沖縄地方渋滞対策推進協議会（平成 25 年 1 月）において、いずれも主要渋滞箇所・交差点に特定されている。
- ・県道宜野湾北中城線を通るバス路線は 3 系統 5 路線となっており、運行本数は日計で 87 本である。
- ・公共交通利用不便地域（バス停から 300m 以上）が分布している。



(1) -3 現状の把握と課題の抽出(まとめ)

表 I-3-10 現状把握と課題抽出

項目	野嵩地区				普天間地区		新城地区		喜友名地区		現況まとめ	出典
	1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	1丁目	2丁目	1丁目	2丁目	1丁目	2丁目		
基盤整備状況	基盤整備済み 区画整理実施済み	○ (整備済み)				○ (整備済み)	○ (整備済み)	○ (整備済み)			・新城地区では事業完了から約50年、野嵩地区では事業完了から約30年経過している。	平成20年度普天間飛行場跡地利用計画に係る周辺市街地整備調査業務 報告書
	狭隘道路 行き止まり道路			△ (課題あり)	△ (課題あり)	△ (課題あり)			△ (課題あり)	△ (課題あり)	・普天間1丁目、野嵩4丁目、野嵩3丁目に4m未満の狭隘道路、行き止まり道路が多く分布している。 ・字喜友名において狭隘道路や行き止まり道路が分布しているが、宜野湾北中城線への通過交通が確保されている。	平成18年度都市計画基礎調査
	建築年齢別現況 木造率現況					△ (課題あり)					・字普天間においては、築30年以上の建物が地区内建物の70%以上を占めており、また木造建築物の比率も他地区と比較して多く分布している。	平成23年度都市計画基礎調査
	公園・緑地不足							△ (課題あり)			・新城1丁目において、一部公園誘致圏に含まれないエリアがある。	平成28年度拠点返還地(西普天間住宅地区)に関する市北部地域のランドデザインの実現に関する市北部地域のランドデザインの実現に関する調査 報告書
地域活力	人口	人口推移 年齢別人口			△ (課題あり)	△ (課題あり)			○ (増加傾向)	○ (増加傾向)	・字喜友名は増加傾向。 ・普天間1丁目、野嵩4丁目の人口減少が著しい。	平成17、22、27年度国政調査
		年少・若年人口 高齢者人口	△ (高齢化)				△ (若年層流出)	△ (若年層流出)	△ (若年層流出)	△ (高齢化)	△ (高齢化)	・新城1丁目、字普天間における年少人口の減少が著しく、字普天間においては、若年人口の減少も著しい。 ・字喜友名、野嵩1丁目の高齢化が、他地区と比較して進んでいる。
	地価	公示価格 地価調査	○ (住宅地)								・野嵩1丁目の住宅地地価が上昇傾向にある。 ・その他の地区については、住宅地、商業地ともに地価が下落傾向である。	平成17、22、27年度国土交通省地価公示、都道府県地価調査
	地域コミュニティ	自治会活動 自治会人口								○ (加入人口増加) (活動種類多)	・自治会活動の種類は、喜友名区が最も多く20種類の取り組みが行われている。 ・喜友名区において人口増加に伴い、自治会人口が増加している。	平成29年度自治会活動広報紙
交通ネットワーク	混雑状況	混雑度	・幹線道路に自動車交通が発生し、慢性的な混雑状況を呈している。 ・周辺道路の交通量(平成27年度交通センサス24h交通量)としては、県道宜野湾北中城線(30,704台/日:混雑度0.79:4車線)、国道58号(63,035台/日:混雑度1.27:6車線)、国道330号(47,118台/日:混雑度2.01:4車線)となっている。 ・国道58号と県道宜野湾北中城線の交差点である伊佐交差点及び、国道330号と県道宜野湾北中城線の交差点である普天間交差点については、沖縄地方渋滞対策推進協議会(平成25年1月)において、いずれも主要渋滞箇所・交差点に特定されている。									平成28年度中南部都市圏駐留軍用地跡地利用及び周辺整備検討調査 報告書 ※平成27年度交通センサスデータに更新
	公共交通	公共交通利用不便地域	・県道宜野湾北中城線を通るバス路線は3系統5路線となっており、運行本数は日計で87本である。 ・公共交通利用不便地域(バス停から300m以上)が分布している。									平成23年度都市交通マスタープラン都市交通戦略検討調査 報告書

・野嵩地区(3丁目、4丁目)、普天間地区(1丁目、2丁目)において、他の字と比べ課題が多抽出された。このエリアは道路も未整備であり狭隘道路が多い。また、建築の建て替えも困難であり、木造住宅や老朽住宅が多く分布し、密集市街地が形成されている。さらに、人口減少及び流出や地価下落もみられ、地域活力が衰退傾向にある。